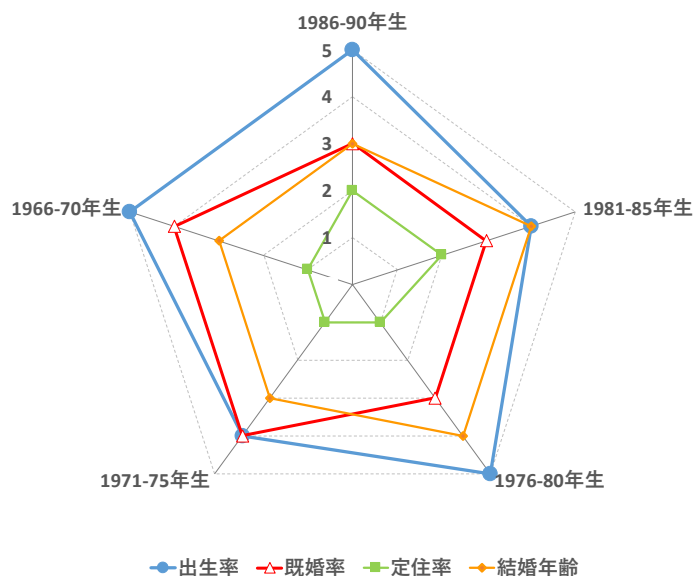


(8) 十日町市

①出生に関する総合評価

図8-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

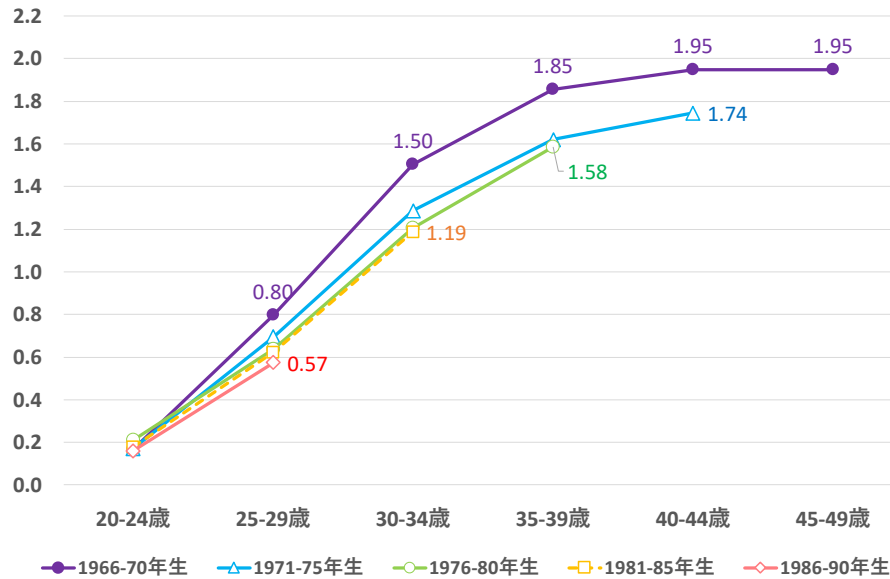
1. 合計出生率は、1966-70年生まれ、1976-80年生まれ、1986-90年生まれは最上位であるが、1971-75年生まれと1981-85年生まれは上位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれと1971-75年生まれは上位であるが、1976-80年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは中位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生まれから1976-80年生まれまでは最下位であるが、1981-85年生まれと1986-90年生まれは下位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれ、1971-75年生まれ及び1986-90年生まれは中位であるが、1976-80年生まれと1981-85年生まれは上位である。

【総合評価】

1. 十日町市では、女性定住率が全コホートで下位以下であるが、女性既婚率や結婚年齢は中位以上である。合計出生率は全コホートで最上位か上位に属している。
2. 25-34歳の出生数は、1980年代前半生まれまでは1人以上を維持していたが、80年代後半生まれの25-29歳の出生率は減少していることから、今後も1人以上を維持できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度であるかに依存する。80年代後半生まれの20歳代の女性既婚率は、80年代前半生まれ以前のトレンドを下回っていることから、楽観視できる状況にないかもしれない。
3. 1980年代生まれの25-29歳の女性定住率は、0-4歳時点の50%台半ば程度であり、人口再生産力のさらなる低下が懸念される。

②コホート合計出生率

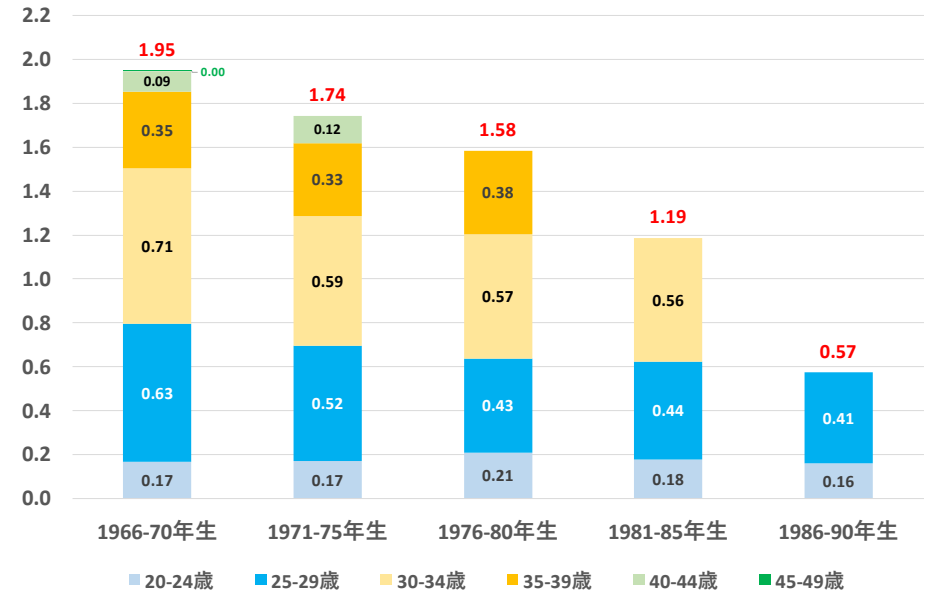
図 8-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 8-2 は、十日町市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ さらに 1976-80 年生まれ以降のコホートでも低下してコホート間の差がわずかに拡大している。
- ・ どのコホートの合計出生率も他市町村と比較して高い傾向にある。

図 8-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

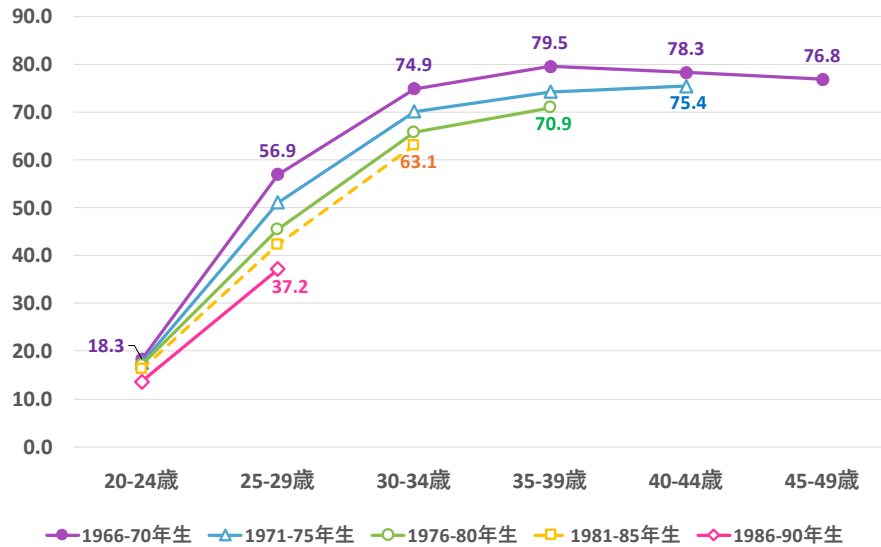


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 8-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は 1966-70 年生まれの 0.80 人に対して、1986-90 年生まれは 0.57 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 1.06 人に対して 1976-80 年生まれは高水準ながら 0.95 人に減少している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、1971-75 歳生まれ以降は 30 歳代でも 1 人が生まれておらず、出生率の低下が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1981-85 年生まれまでは 1 人以上を維持しているが、1986-90 年生まれの 25-29 歳の出生数はこれまでよりも少ない 0.41 人に減少した。

③コホート別既婚率

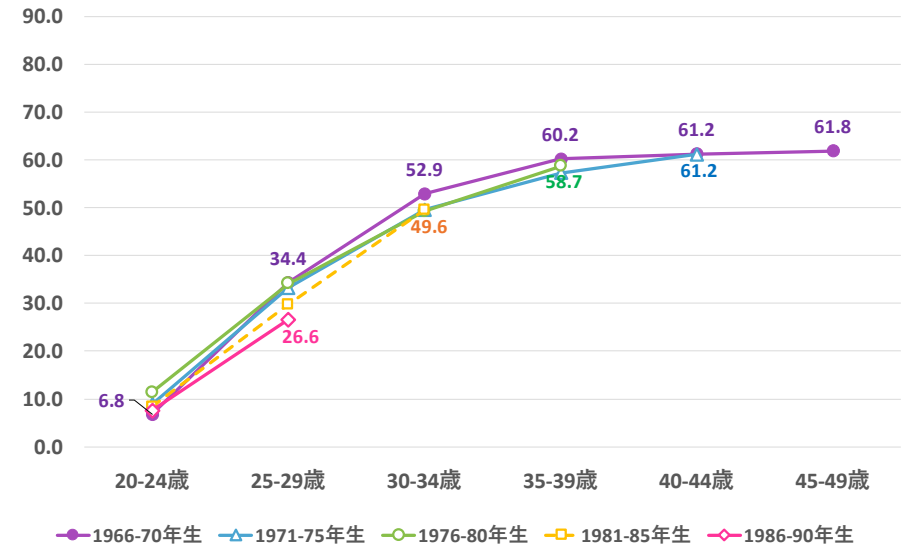
図 8-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 8-4 は、コホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の大きな低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 56.9%から 1986-90 年生まれの 37.2%へと 19.7 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 79.5%から 1976-80 年生まれは 70.9%へと 8.6 ポイント低下している。

図 8-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

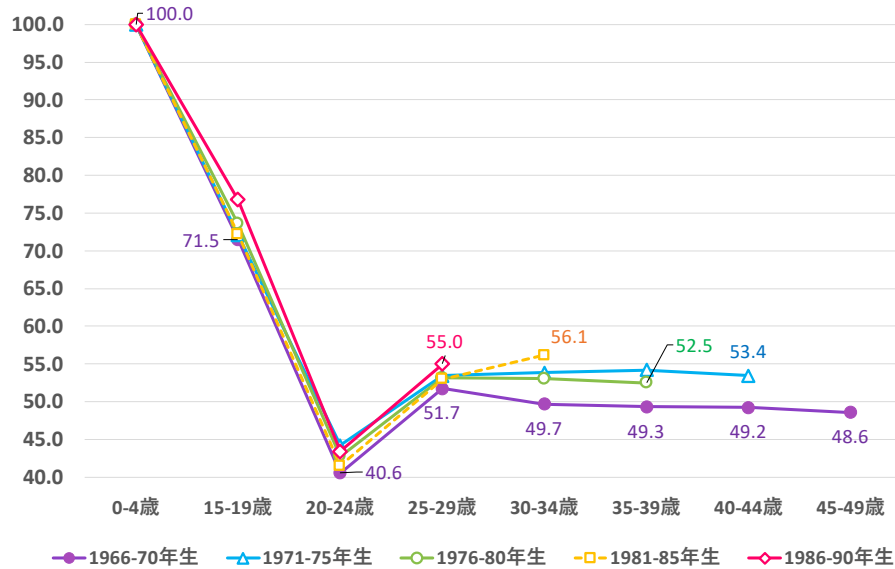


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 8-5 は、コホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 34.4%から 1986-90 年生まれは 26.6%へと 7.8 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 60.2%から 1976-80 年生まれは 58.7%に 1.5 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台後半に達するが、男性は 60%台前半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 8-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

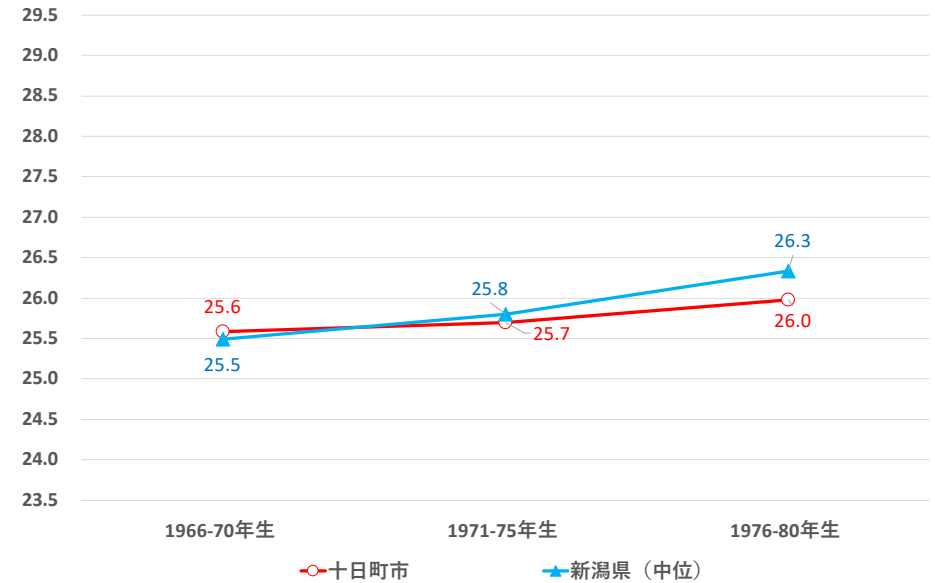


注：0-4 歳人口=100. 「国勢調査」より作成.

- ・ 図 8-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している.
- ・ 25-29 歳における女性定住率は、1966-70 年生まれの 51.7 から 1986-90 年生まれは 55.0 に 3.3 ポイント上昇しており、35-39 歳における女性定住率は、1966-70 年生まれの 49.3 から 1976-80 年生まれは 52.5 に 3.2 ポイント上昇している.
- ・ 十日町市では、25-39 歳時でみると、定住率の低下は見られず、1970 年以降のコホートでは 1966-70 年生まれコホートより改善している. しかし、0-4 歳時点の 50% 台半ば前後に減少する状況が続いている.

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 8-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

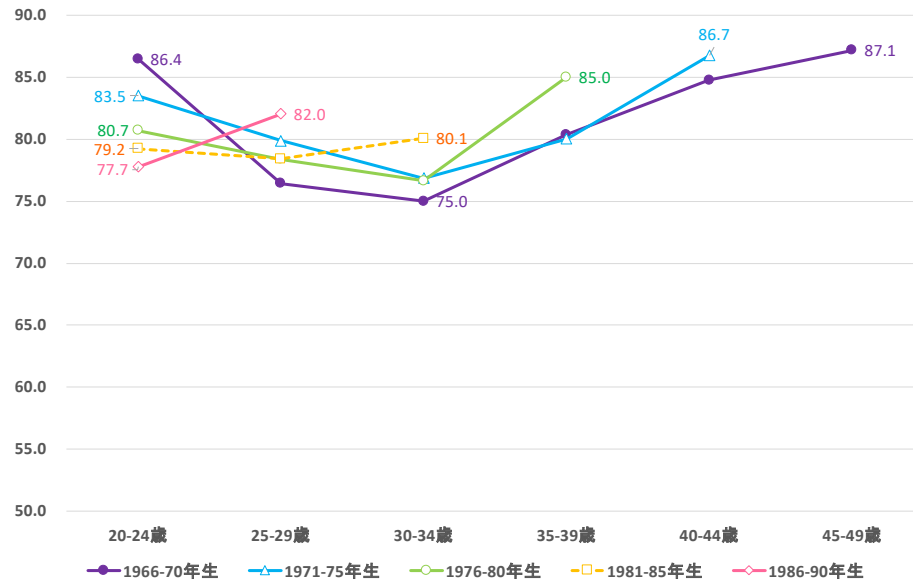


注：「国勢調査」より作成.

- ・ 図 8-7 はコホート別の 35-39 歳までの女性平均結婚年齢を示している.
- ・ 1966-70 年生まれ、1971-75 年生まれ、1976-80 年生まれの 35-39 歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ 25.6 歳、25.7 歳、26.0 歳である. 1966-70 年生まれと比べて、1976-80 年生まれは 0.4 歳だけ平均結婚年齢が遅れている.
- ・ 1966-70 年生まれの県内順位は 18 位、1971-75 年生の県内順位は 12 位、であり県内平均(中位)程度だったが、1976-80 年生は 8 位と県内では平均結婚年齢が比較的早い自治体となった.

⑥コホート別女性就業率

図 8-8 コホート別女性就業率 単位：%

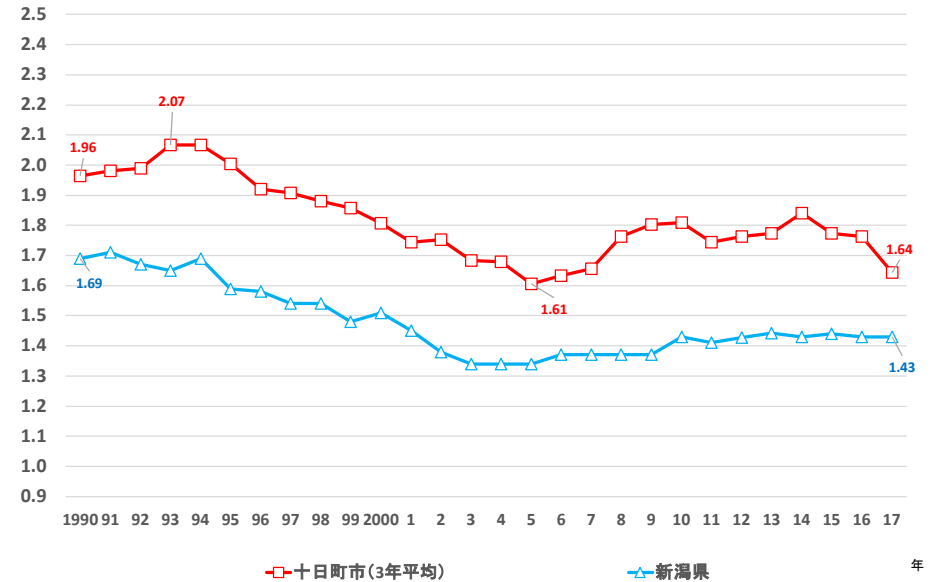


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 8-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1986-90 年生まれで就業率が上昇し、それ以外のコホートでは減少している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 75%であったのに対して、1981-85 年生まれは 80.1%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 8-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 8-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と十日町市 (3 年平均) の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降でみると、十日町市の期間合計特殊出生率は一貫して新潟県平均より高く、期間平均は 0.34 ポイント高い。
- ・ 十日町市の期間合計特殊出生率は、1993 年の 2.07 をピークに低下してきたが、2005 年の 1.61 を底に 2014 年には 1.84 まで改善したが、2017 年には再び 1.64 に低下している。